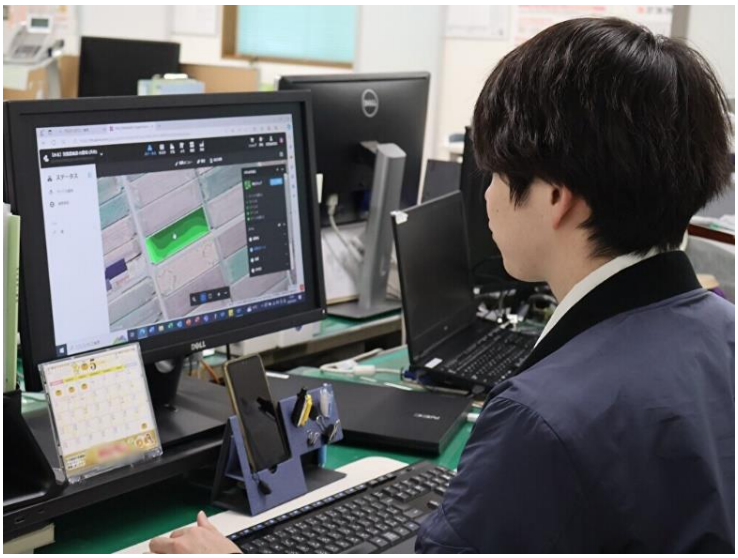
■生産情報

① 中干し指導会

６月初旬からＪＡ佐渡管内のモデル圃場約７０ヵ所で中干し指導会が行われました。中干しは田んぼに張っている水を抜くことによって土壌中へ酸素を供給して有害ガスの除去、根の活力を高め高温登熟に備えることなどを目的として行います。昨年の干ばつや元旦に発生した能登半島地震の影響により漏水や水が不足している圃場について注意喚起と対応を説明しました。今年度からＪＡ佐渡で導入を進めている栽培支援システム「ザルビオ」の中干し適期予測とＪＡ佐渡営農指導員の予測を比較検討しました。今後、ＡＩの予測と実際の結果について分析を行っていく予定です。

ＪＡ佐渡では新たなツールを活用することで米の収量・品質向上に繋げられるよう普及推進を進めて参ります。

② 衛星画像×ＡＩ技術の導入



ＪＡ佐渡では、品質の安定化と収量確保のために栽培管理システム「xarvio®FIELDMANAGER（ザルビオフィールドマネージャー以下ザルビオ）」の実証試験と普及推進に今年度から取り組み始めました。生産者の高齢化・人口減少に伴い、１人あたりの経営規模は増加傾向にあります。これに伴い圃場ごとの状況把握・適期管理が難しくなっています。ザルビオはこれらの課題解決に有効な手段であると考えます。主な機能である圃場ごとの生育ステージを予測する機能は、登録した全ての圃場の作業適期の目安を知ることが出来ます。また、可変施肥機能を活用することで、圃場内の生育ムラ解消によって品質・収量向上が出来ると期待しています。

ＪＡ佐渡では本システムから多くの圃場の状況を把握することが出来るため、米の品質向上や営農計画の判断材料として水稲指導にも活用していきたいと考えています。

■出荷情報

佐渡の農畜産物を全国に向けて PR

３月 10 日(佐渡の日)に JA 佐渡畑野倉庫でラッピングトラック第２号車の出発式が開催されました。この第２号車は佐渡産農畜産物の認知度向上の取り組みとして、佐渡市、佐渡汽船運輸株式会社、JA 佐渡の三者が協力し運行することとなりました。佐渡を代表する佐渡米やおけさ柿の他にも様々な農畜産物を佐渡米輸送トラックに描き、走る広告塔として全国を走ります。

佐渡産直ネット「さどまるしぇ」

さどまるしぇとは、佐渡の生産者や農産物を直接指名し購入できるオンラインの直売所です。
生産者の顔が見える安心安全な食材をお届けします。

詳しい内容は販売企画課までお問い合わせください。
お問い合わせ先：einoukouho@ja-sado-niigata.or.jp

さどまるしぇのHPは
こちらから♪